

○銀山の製錬作業を体験しよう（7/11）

18名の参加者を迎え、こなし作業、選鉱作業(砂銀採り)、灰吹法実演見学を体験してもらいました。

まずは、こなし作業です。当時を思い浮かべながら、鉱石を細かく砕いてもらいました。

ある参加者からは「思ったより難しい、力加減が強いと飛び散って細かく砕くことができない。繊細な作業であるこなし作業に女性が活躍したのもうなずける。」と感心しておられました。



【作業風景…左上、右上ともに苦戦しながら細かく砕く作業】

引き続き、細かく砕いた鉱石から銀を含む部分を採り出す作業（選鉱作業）を体験してもらいました。とはいえ、実際に鉱石の中から探し出すのは困難ですから、銀粒を含ませた砂土を使った模擬体験です。参加者の中には、早々に作業のコツを掴み短時間で数十粒の銀粒を見つける達人も、時間を忘れて熱中していました。



【ゆり盆を使つての銀粒さがし】



【採れた銀粒は記念にお持ち帰りいただきました】

そして、参加者が最も期待していた灰吹法実演の見学です。専門スタッフが簡易的な再現の場をセッティングし、灰吹法の仕組みを含め実演しました。オレンジ色になる程熱されドロドロの状態に融けた銀と鉛の合金のうち、鉛だけが灰の隙間に吸い込まれ、銀だけが残る灰吹法のオーソドックスな仕組みをすぐそばで見学してもらいました。



【骨灰皿に見立てた、石灰で出来た皿の上に銀と鉛の合金をセットし加熱】



【オレンジ色になる程加熱、ドロドロに溶けあつた中で、鉛だけが皿に吸い込まれていく】